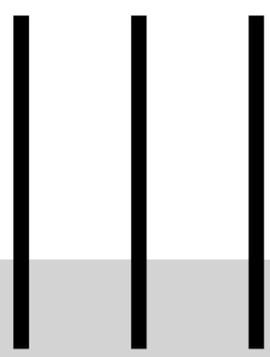


Three vertical black bars of varying heights are positioned on the left side of the page. The top bar is the tallest, the middle bar is shorter, and the bottom bar is the shortest.

# 2018年9月期第1四半期 決算説明資料

## 株式会社チェンジ

証券コード3962

Three vertical black bars of varying heights are positioned on the left side of the page, mirroring the ones above.

CHANGE  
PEOPLE, BUSINESS, JAPAN

# 2018年9月期 第1四半期サマリー

業績目標に対して  
好調に推移  
引き続き成長に向  
けた投資を継続

AIを中核とした新  
サービスを順次リ  
リース・拡大中

	第1四半期 合計	対業績目標
売上高	392百万円	+23百万円
経常利益	25百万円	+25百万円

- ☑ 第四次産業革命に向けた人材育成関連事業が大きく伸長
- ☑ 音声AI、Alexa関連事業が引き続き好調に推移
- ☑ 人材育成・教育領域へのVR活用支援サービスを提供開始
- ☑ 新技術（AI、RPA、VR等）を活用した地方自治体向けサービスを提供開始

# 事業成長に向けた4つの戦略

## 提携戦略

- 海外発の先進技術・製品の目利き・調達
- 国内でのIT販売・提供網の強化

## 顧客戦略

- フラグシップユーザーの獲得
- 業界内への横展開

## 商品戦略

- 先進技術の研究開発
- ユースケース開発・ライブラリ化

## M&A戦略

- M&AによるNEW-ITトランスフォーメーション事業の成長

# 第1四半期のハイライト

## ハイライト

### 経済産業省の第1回「第四次産業革命 スキル習得講座」に認定

顧客戦略

商品戦略

- 「データサイエンティスト養成講座」、「AI活用コンサルタント養成講座」が認定取得
- 2018年4月より認定講座として、法人企業/個人のデータ・AI活用スキル獲得・向上を支援

### 第四次産業革命に対応した人材紹介事業開始、 AIコンサルタントコミュニティ（CHAIN）の立上げ

商品戦略

- AI活用コンサルタント養成講座の受講を経て要件を満たした人材へAI活用コンサルタント資格認定を開始
- プロジェクトを通して目利きした人材を中心にAI人材コミュニティ（CHAIN）を立上げ、企業のAI人材ニーズにマッチした人材の紹介を開始

## 今後の展望

- 国内において圧倒的に不足するデータサイエンティスト、AI人材の育成を加速
- 従来のIT技術者の“Reスキル”に向けて、技術・人材育成ノウハウを提供

- 【AI人材育成】と、【AI人材紹介】の2つのアプローチで企業の人材ニーズへアプローチ
- 教育事業・AIプロジェクトを通じた人材データベースの拡充

# 【参考】第4次産業革命人材教育・人材紹介

## 第4次産業革命人材紹介サービス

これまでに、

- 総務省から「ICTスキル総合取得プログラム」の開発業務を受託・実施
- データサイエンスや AI 技術、さらにビジネスでの実践事例や導入の方法論で構成
- 10コース超のトレーニングカリキュラムを大手企業・政府官公庁に提供

教育

経済産業省の第1回「第四次産業革命スキル習得講座」に認定

OJT

On the job training

当社における国内最先端のAI・IoTプロジェクトを通じたOJT

人材紹介

スキルアップしたAI人材を、顧客企業に紹介・マッチング

CHAIN

CHange AI Network

AI コンサルタントコミュニティ

CAI

CHange AI consultant

AI活用コンサルタント資格認定

日本において圧倒的に不足するAI人材の早期育成・即戦力化を推進

# 第1四半期のハイライト

## ハイライト

Amazon Alexaの活用プロジェクトを順次開始、**商品戦略**  
企業/開発者のネットワーキングをあわせて推進

- Alexaの業務活用に向けたSkill開発プロジェクトを複数受託し提供
- プロジェクトを通して得た知見をもとに、企業向けにAlexa活用ノウハウ、開発者向けに開発ツール活用ノウハウを提供（それぞれに向けたセミナーを実施）

音声ビッグデータ領域のAIアルゴリズムを統合した**商品戦略**  
VoX（Voice of Experience）を提供開始

- Amazon Alexa向けSkill企画・開発サービスをはじめ、音声認識、音声テキスト検索、スマートフォン通話録音等の音声ソリューションを組み合わせ顧客ニーズに合わせて提供
- 従来のキーボード、タップ入力から、働き方に合わせた音声入力・分析の活用へユースケースを開発・シフト

## 今後の展望

- Alexa Skillに対応したエンジニアのネットワーキングによるサービス提供キャパシティの拡大
- オリジナルSkillの順次開発・提供

- 音声関連技術を組み合わせた、高齢者向けサービス、フィールドワーカー向けサービス等、新たなユースケースの開発・提供

# 【参考】VoX/AIスピーカー

## VoX (Voice of eXperience)

### VoXサービスメニュー (今後、順次拡張)



これまでに、

- ✓ 人工知能を用いた音声認識技術の活用
- ✓ 音声関連特許の取得
- ✓ 非構造データの分析・活用技術の提供
- ✓ 音声AIアシスタント活用

関連ノウハウを集約し  
多様化するニーズへの  
対応を強化

### Alexaサービス展開

#### 企業向け

- ・ 物流業、金融業等の企業に向けたAlexa Skill企画・開発サービスを提供
- ・ Amazon Echoのビジネス活用ノウハウを習得するためのセミナーを開催
- ・ 企業向けのSkill開発サービス・プラットフォームを提供

#### 開発者向け

- ・ 当社の米国での Skill 開発・提供実績を踏まえたASK\*1の活用セミナーを開催
- ・ 優秀なエンジニアのスキル強化・ネットワーキング

**Amazon Echoのグローバルでの出荷台数は2019年までに1億1300万台と予測\*2  
11月より日本発売を受け、当社の関連ビジネスの展開を加速**

\*1: Alexa Skill Kit: Alexaを用いた開発ツール

\*2: 米国みずほ証券のアナリスト Neil Doshi 氏による予測

# 第1四半期のハイライト

## ハイライト

### RPAとAIを組み合わせたホワイトカラーの生産性革新のための業務自動化ソリューションを提供開始

顧客戦略

商品戦略

- ホワイトカラーの労働生産性向上（残業時間の削減）に向け、定型作業と判断業務の自動化を可能とする「HIA（Human Intelligence Automation）」を提供開始
- BPR（業務改革）プロジェクトを通して、適合箇所を識別しクイックに成果創出につなげるサイクルを実現

### VR（仮想現実）の人材教育への活用支援サービスを提供開始

顧客戦略

商品戦略

- 鹿児島県肝付町とともにGCF\*1を活用したVR宇宙ミュージアム建設プロジェクトを推進中（あわせて新たな公共事業の形態の追求）
- フィールドワーカー向けを中心とした、実業務映像を利用したVR教育コンテンツの制作サービスを開始

## 今後の展望

- 働き方改革の具体的な解決策として、NEW-IT活用BPRと組み合わせたサービスの提供拡大

- 危険体験/安全啓発、災害対策などのテーマを中心に、サービス提供先を拡大
- コンテンツの汎用化およびコンテンツ制作基盤のプラットフォーム化を推進

\*1:GCF : ガバメントクラウドファンディング

# 【参考】HIA (Human Intelligence Automation)

## 新商材 HIA (Human Intelligence Automation)

### RPA 処理の自動化

Robotic Process Automation

- 入力・登録・削除といったルールベースの作業



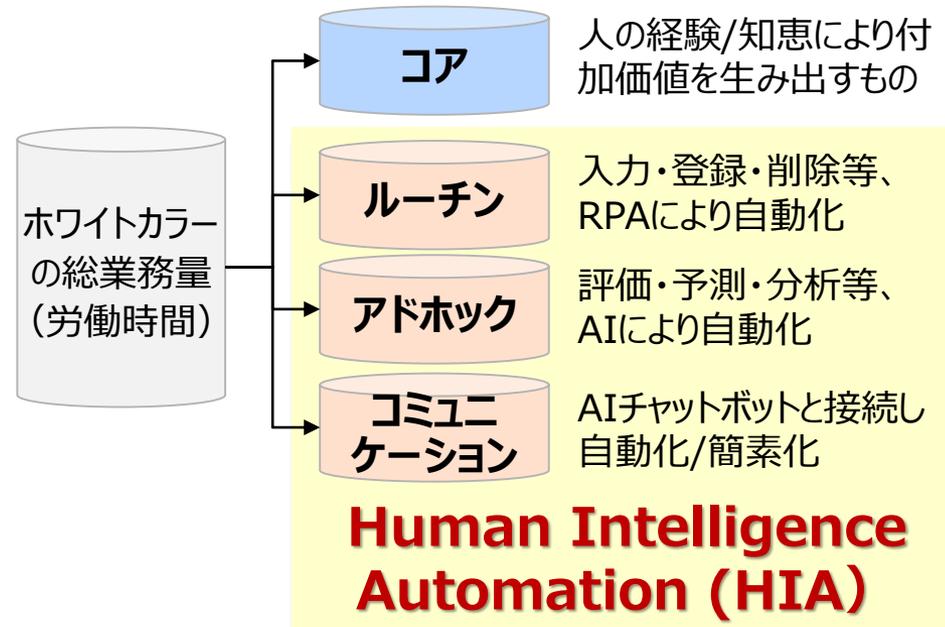
組み合わせ

### AI 判断の自動化

Artificial Intelligence

- 評価・予測・分析といった判断ベースの作業
- 画像認識技術の活用

「働き方改革」における本質的な打ち手として、  
**ホワイトカラーの業務自動化を推進**



労働人口が減少する環境において、テクノロジーの活用による一人当たりの生産性向上を実現

# 【参考】VRラーニング・VR広報

## 新商材 VRラーニング・VR広報

### 既存ライブラリ

#### 人財教育

100社を超える顧客に向けて人財育成プログラムを提供

#### BPR

NEW-ITソリューション提供における顧客の業務シーンの分析

#### 画像制作/活用

教育の1ツールとしての画像/グラフィックスの製作・活用

活用

### VRコンテンツ開発・提供サービス

#### VR教育プログラム

- 法人への教育プログラムへのVRコンテンツのあてはめ
- 企業等が有する既存資産（写真・動画）を活用するプログラムの提供
- 立ち会えない現場/めったに発生しない体験のシミュレーション

#### VR広報プログラム

- 企業等の事業内容を仮想体験できるプログラムの開発・提供
- 消費者向けブランディング・PR活動における活用
- 消費者が日ごろ「見ることのできない」コンテンツを訴求

**今後ニーズが高まる社会課題（インバウンド対応、自然災害対策、働き方改革など）にフォーカス**